

I 第8週の発生動向 (2010/2/22~2010/2/28)

1. インフルエンザについては、県内すべての保健所管内において**警報**が解除となっています。
2. 感染性胃腸炎については、県全体では前週に引き続き、患者数の多い状態が続いていることから今後も注意が必要です (☞図VI)。
3. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第3週から**警報**が継続しています。

II 第8週五類感染症定点把握 注: 五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	17	1.2	16	1.1	13	0.9			6	0.7	9	1.5	61	0.9	8			17	1.4
小児科 (74) RSウイルス感染症	2	0.2	2	0.2					3	0.5			7	0.2	-3			2	0.3
(75) 咽頭結膜熱									1	0.2	1	0.3	2	0.0	-1				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	1.8	11	1.2	1	0.1			12	2.0	15	3.8	55	1.3	5			16	2.0
(77) 感染性胃腸炎	74	8.2	42	4.7	56	6.2	32	6.4	99	16.5	50	12.5	353	8.4	24	4	4.0	70	8.8
(78) 水痘	19	2.1	1	0.1	3	0.3	2	0.4	5	0.8			30	0.7	-24	5	5.0	14	1.8
(79) 手足口病			2	0.2					2	0.3			4	0.1	2				
(80) 伝染性紅斑	6	0.7			1	0.1			10	1.7	1	0.3	18	0.4	9			6	0.8
(81) 突発性発しん	4	0.4			2	0.2	3	0.6	5	0.8	4	1.0	18	0.4	4	1	1.0	3	0.4
(82) 百日咳															-1				
(83) ヘルパンギーナ															0				
(84) 流行性耳下腺炎	7	0.8			1	0.1	5	1.0	4	0.7			17	0.4	0			7	0.9
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	2	1.0	1	0.3									3	0.3	-3			2	1.0
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	4	4.0							7	1.2	-2				

は警報、は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患

(注: 届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 青森市 1人 (22年計: 36人)
- (13) コレラ(三類全数把握疾患): 青森市 1人 (22年計: 1人)
- (59) ウイルス性肝炎(五類全数把握疾患): 弘前 1人 (22年計: 1人)
- (60) 急性脳炎(五類全数把握疾患): 弘前 1人 (22年計: 1人)

IV 病原体検出情報

- ・ 病原体情報はありませんでした。
- ☞過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

コレラ

(三類全数把握)

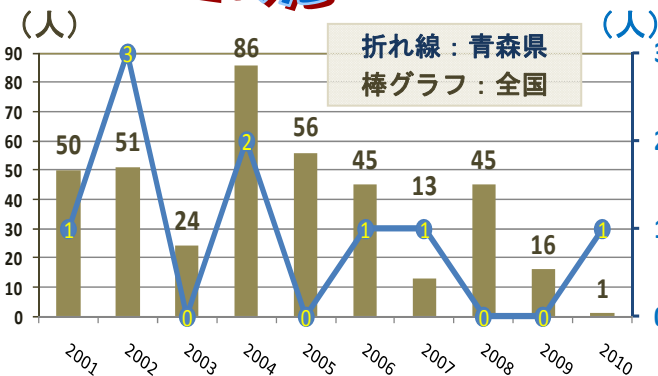


図1 全国および青森県届出数

(2001-2010年 第8週現在)

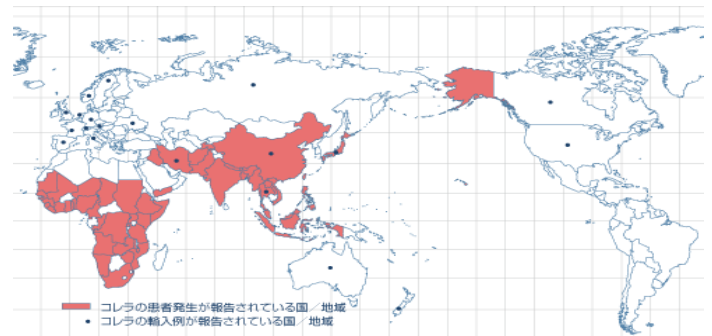


図2 コレラの分布地域

出典 WHO International travel and health 2009

本疾患は、コレラ菌に汚染された飲食物を経口的に摂取することにより感染します。主症状は、下痢(軟便~米のとぎ汁様)であり、その他嘔吐、脱水などを呈します。本県の2001年以降の届出数は累計9人です(本年第8週含む)。感染推定地域では2人(2001,2002)が国外であり、他7人の推定地域は国内または不明でした。型別分類ではO1小川型が4人、O1稲葉型が2人、その他不明等が3人でした。感染源は患者および保菌者の糞便などが考えられ、コレラが流行している国(図2)では、生水・氷・生の魚介類(刺身・エビなど)を避けることが大切です。

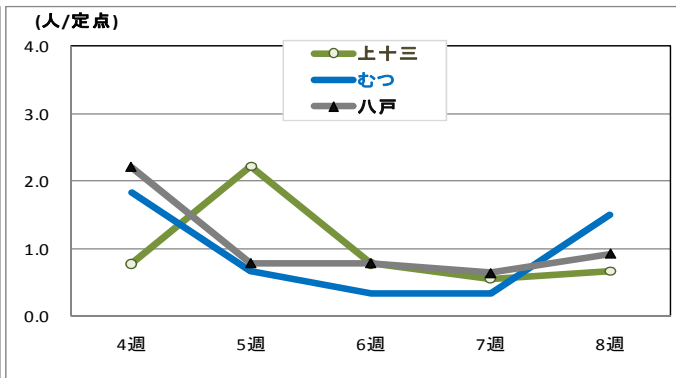
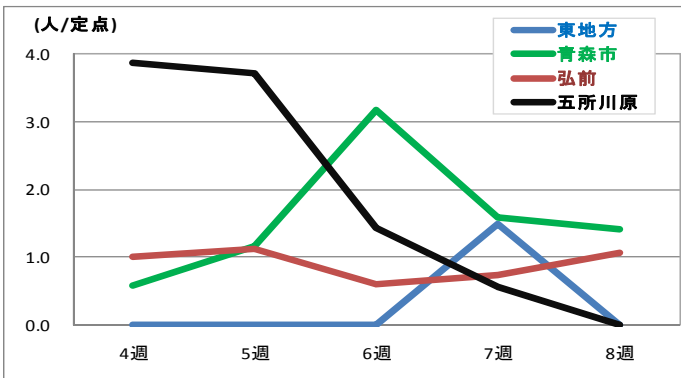
V インフルエンザ情報 (注: 届出数は速報値です)

・青森県全体の届出数は61人(8人増加)です。

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	0	16	13	0	6	9	17
A型	0	16	12	0	5	9	16
B型	0	0	0	0	0	0	1
不明	0	0	1	0	1	0	0

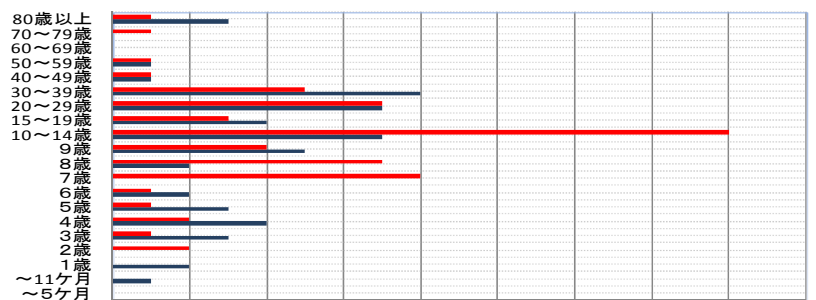
V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移 (インフルエンザ)



・警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報開始レベルは10人/定点です。

V-3 年齢別構成 (2週比較) 単位: (人)

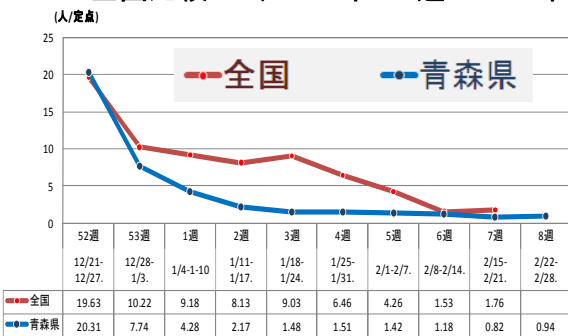
(青森県保健所管内マップ)



	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
■ 8週	0	0	0	2	1	2	1	1	8	7	4	16	3	7	5	1	1	0	1	1
■ 7週	0	1	2	0	3	4	3	2	0	2	5	7	4	7	8	1	1	0	0	3

V-4 全国比較 (2009年52週~2010年8週)

※全国値は7週までです。

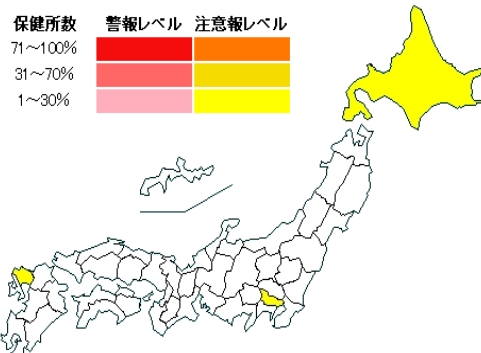


第7週

感染症発生动向調査

図中白い部分は、警報・注意報発令保健所が存在しない都道府県です。

出典: 国立感染症研究所



VI 感染性胃腸炎情報 (保健所管内別青森県)

